

農福連携作業マニュアル

【作業名】	イチゴ残渣片付け 株の刈り取り作業			
【作業の理由】	イチゴの収穫後に株を取る理由は、病害虫の発生や生産性の低下を防ぐために行われます。			
【準備】	道具・備品（事業所）	写真	道具・備品（農家）	写真
	●手袋		●鎌	
【姿勢】	立位（高設栽培）※土耕栽培の場合は座位			
【作業工程】	①イチゴの株をしっかり掴みます ➡ ②鎌を少し土に入れます ➡ ③クラウンが残らないように根から切ります ➡ ④切った株をベンチ（マルチの上）に置きます			
【作業内容】	 ➡  ➡  ➡  ①イチゴの株をしっかり掴みます ②鎌を少し土に入れます ③クラウンが残らないように根から切ります ④切った株をベンチ（マルチの上）に置きます			
【POINT】	●鎌を土の中に入れてしまう方が、根が切りやすいです。中には鎌を使わずに折れる株もあるので、折れるものは折っても良いです。			
【作業注意点】	    株の横に冠水チューブが通っているので、冠水チューブを切らないように避けてください。マルチを開いて良いです。マルチを開いた方が切りやすいです。手を切らないように茎の少し上の方を掴むようにしてください。			
【動画】	https://youtu.be/7wNiLLxYMMg			
【確認】	刈った株をベンチに乗せて重ねるため、刈っていない株に乗せ狩り忘れが発生する場合があります。狩り忘れがないか確認してください。			
【作業難易度】	② 立位で姿勢は楽です。鎌で刈るだけなので巧緻性も高くありません。注意配分数は2			
【作業環境】	ハウス内作業 ハウスの両サイドは大きく開けてありますが、6月上旬の作業ですので暑さ対策をしてください。			
【備考】	高設3棟、2300株			